

令和5年度山形県子ども会サマーキャンプ (リーダー研修会) 報告書

とき 令和5年7月8日(土)～9日(日)

ところ 山辺町 山形市少年自然の家

【2日目】7月9日(日)

6:00 起床

6:30 朝の集い

7:30 朝食

9:00 いかだアドベンチャー



ライフジャケットを着けて準備をし、荒沼に向けて出発



ユースリーダーのともちゃんが、水の中に入ってサポートしてくれました。



何か起きたときのための救助用のボートもスタンバイ



救助用のボートはいつのまにか鬼となり、いかだとボートの鬼ごっこが始まりました。

かけ声をかけているグループは息が合い、スピードが速く、うまく鬼から逃げることができました。

10:30 植樹した木の手入れ



左は植樹した当時の写真です。



平成21年と22年の2年間にわたり、「もったいないKids植林プロジェクト」の助成を受け合計55本のヤマボウシを植樹しました。今年も、大きく育った木々の周りの雑草を取り、環境整備をおこないました。新たに標柱を設置し記念写真を撮りました。

11:30



休憩時間でしたが、自分たちで声を掛け合い、体育館へ行って遊んでいました。

12:00 昼食

13:00 思い出の品作り



バルーン



缶バッチ

14:30 まとめ

2日間をふりかえり、感想文を書きました。

15:00 閉会式

今年のサマーキャンプは、雨降りの天気だったため所々でプログラムを変更しながらの開催となりました。

しかし、事前に雨天時のプログラムを用意していたこともあり、自然の家の方々のご協力をいただきながら、2日間充実した活動を行うことができました。

モルックの時は終わった班から後片付けをしたり、休憩時間に声を掛け合い、体育館に行ってみんなで遊ぶなど、自主的に行動する姿を見ることができました。

ゲームなど家の中で過ごすことが増え、伝承遊びなどをする機会が少なくなったという新聞記事を見て、リーダー研修会の際に始まった「だるまさんがころんだ」や「はないちもんめ」でしたが、自分たちで声を掛け合い、自主的に遊んでいました。

ほとんどの人が小さいときに遊んだことのあるこのような伝承遊びは、準備する道具も必要なく「いつでも、どこでも」できるため、これからもちょっとした隙間時間に遊んでほしいと思います。

いかだアドベンチャーの最中に小雨が降ってきたり、天候にはあまり恵まれませんでした。逆に暑すぎず体調を崩すことなく、全員最後まで元気に活動することができました。

みなさんお疲れさまでした。

参加者

小学生	10名
中学生	6名
高校生	3名

ひのかさ シニアリーダー	4名
-----------------	----

引率者	2名
-----	----

県子連役員・事務局	6名
-----------	----

合計	31名
----	-----